

あけぼの

上越市立直江津南小学校

人権教育強調週間

12月4日～12月10日の「人権週間」では、県内各校においても「人権教育強調週間」として、子どもたちの人権尊重の精神の涵養を図る取組を行いました。期間は各校の実情に応じて前後してもよいため、直江津南小学校では11月26日から12月6日までを人権教育強調週間とし、特に11月26日を当校の「人権の日」として全校で人権について考えたり学んだりしました。その取組を紹介します。

【1年生：人権教育、同和教育の授業】



1組：「かみひこうき」というお話から、「男女による決めつけ」について考えました。色や遊びなど、「女の子っぽい」「男の子っぽい」と何気なく決めつけをしてしまっていることがあること、それは相手を傷付けている行為であることに気づき、「友達の好きなものを大切にする」「好きなものに男女は関係ない」という思いをもちました。

2組：「ぼくもしたい」というお話から、「仲間はずし」について考えました。二度もドッジボールに入れてもらえなかった登場人物の気持ちに憤りを持ち、「自分ができること」について考えました。「ダメだよと言う。」「一緒に遊ぼうと言う。」など、自分ができることを考え学級全体で仲間はずしに立ち向かう気持ちを共有しました。

【2年生…人権教育、同和教育の授業】



「たかしさんのズボン」というお話から、「いじめに対して勇気をもって解決していく」ことについて考えました。友達をからかうつおさん、つらい思いをするたかしさん、それを取り巻く子どもという、いじめをする人、いじめられる人、それを傍観する人の立場がはっきりと描かれているお話で、子どもたちは、たかしさんの気持ちを考えるなかで、傍観者もいじめの加害者であることに気づきました。そして、勇気をもっていじめを解決することの大切さを学びました。

【3・4年生：人権に関わる講演会】



上越教育大学の清水教授から、「インターネットと人権」をテーマにお話いただきました。インターネットが身近になってきている中学年の子どもたちに、自分たちがしているゲームの奥に潜む危険性やネット上に書き込む際に知っておくべき大切なことを教えていただきました。インターネットの機器は、人の命を救う道具にもなるし人の命を奪う道具にもなる、使う人が間違えると最悪な機械になる。また、「まじめだね、おとなしいね」などは言われて嬉しい人もいればそうでない人も、みんなが同じ感覚でないことを知る大切さも教えていただきました。

人権擁護委員の方が人権教室を行ってくださいました。はじめに「人権とは何か？」についてお話をいただき、その後、子どもの人権に関するDVDを見せていただきました。そして、「はじめをなくすためにどうしたらよいか」についてグループで話し合いました。子どもたちは真剣に話を聞いたり、相手への思いやりやお互いを尊重し合う気持ちを大切にすることについて考えたりしました。「人権はわたしたちみんなが幸せになる権利だからこそ大切にしたい。」と振り返るなど、人権と向き合って考える時間になりました。

【5年生：人権教室】



来年度からともに学ぶ中学校区の6年生と中学1年生が、中学校に集まって行きました。

最初に「絆を深める小中スクール集会」を行いました。『「人と人とのつながり（絆）」を深めていくために今、何が必要か?』という問題提起を受け、各校の取組紹介や直江津中学校区児童生徒のいじめ見逃しゼロ宣言を行いました。

次に、昨年も南小で講演をしてくださった中倉茂樹様から、同和問題や身近な人権問題について講演をしていただきました。紙芝居を通して語られた内容や、実際にあった話などをお聞きし、子どもたち一人一人が一生懸命考えていました。

【6年生：「絆を深める小中スクール集会」 「中倉茂樹様の講演」】



人権教育は、継続して取り組んでいくことが重要です。これからも子どもたちの様子をていねいに見つめ、しっかりと取り組んでいきます。それには、家庭、地域、学校がともに同じ方向を見据えて歩いていくことが大切だと考えています。今後ともご理解とご協力をよろしくお願い致します。

丑年もあとわずかです。寅年を迎えます。皆様、どうぞよい年をお迎えください。

【1月の行事予定】

1月7日（金）3学期始業式

13日（木）ベルマーク

14日（金）知能検査（1・3・5年生）

19日（水）避難訓練

24日（月）校内書初め展（～2/4）

26日（水）わくわくデー

31日（月）授業参観、学年懇談会
3年・6年PTC活動

